

事例 ● 取組の名称 **カフェの再開・カフェで再会** 分類： 居場所 アウトリーチ 相談 学習支援 見守り 住民主体

運営団体基本情報

● 運営団体名	オレンジカフェ ひよっこ	● 代表者名	小野寺 千年	● 所在地	栗原市金成片馬合111-1
● スタッフ構成	4名	● 運営財源	助成金（栗原市・市社協）		
● 連絡先	TEL:0228-42-1248 Mail:ak-sasaki@kurihara-sfk.or.jp		● ホームページ（参考情報）		

新型コロナウイルス感染症拡大前の事業概要

● 対象者層	認知症の患者や家族、地域の方	● 活動頻度	月1回	● 活動場所	栗原市金成 民家「ひよっこ」
● 活動の形態	認知症カフェ、情報交換の場	● 平均利用者数	30名	● 利用料金	参加料 一人100円

【活動の特徴と新型コロナウイルス感染症対策】

具体的な活動	●新型コロナウイルス感染症拡大前	<ul style="list-style-type: none"> ・民家を利用のため、参加者が多いと密接して活動。 ・毎回、必ず歌を取り入れている。 ・活動時間は2時間。 ・換気は特に行わない。 	● 活動経費 栗原市より助成金 20,000円 栗原市社会福祉協議会より助成金 47,000円
	●新型コロナウイルス感染症拡大後の取組と工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区毎に班分けをし、1日2回の実施。 ・1回の活動時間を1時間に短縮。 ・飛沫感染予防のため、歌は控える。 ・換気をしながら活動。 ・入室前、スタッフが参加者への検温、手指消毒の声掛けを行う。 	
	●取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・集う事で、地域住民の生活状況を把握する機会となった。 ・顔を合わせる事で、安否確認にもつながった。 	